

ASO NANGOU HI



## 南郷檜の特性

- ① 苗は挿し木による（日本で唯一のヒノキの挿し木品種）
- ② 挿し木の為、トックリ病への抵抗性が強い（ほぼ無い）
- ③ 成長は晩年型、100年以上でも成長量落ない（大径材に向く）
- ④ 500年の大樹あり（一般のヒノキは120年）
- ⑤ 傾斜地でも根曲がりがない（通直、完満）
- ⑥ 80年生位まではほとんど結実しない
- ⑦ 葉は冬でも赤くならず、深い緑色を保つ
- ⑧ 枝と樹幹のなす角度は鋭角（60度前後）
- ⑨ 材の狂いがあまりなく、ツヤがあり、神社仏閣の修理や建具材に良
- ⑩ 枝打ち後の肉付けが良い（若い時期）
- ⑪ 遺伝子（DNA）は14型60% 18型 S型 その他数十種
- ⑫ 材の強度は一般材より強く、強度のバラつきが少ない
- ⑬ 色味は淡桃黄白色（生育地で違いがある）
- ⑭ 表面の硬さは肌触りが硬い
- ⑮ 香気は一般の檜より香りが強い
- ⑯ 幹肌は皮目が粗いが一般のヒノキと大きくは変わらない
- ⑰ 檜皮に向く
- ⑱ 生育分布は阿蘇カルデラ内及び外輪山一体
- ⑲ 生育地は、杉と同じで肥沃で湿気の多い土地
- ⑳ 100年以上の大経木は高値で取引



高森阿蘇神社



南阿蘇天理教銀峰分教會内神殿



栗屋克範氏 山林の南郷檜

阿蘇南郷檜として  
ブランド化を目指す  
ために行う育成管理  
技術体系マニュアル

## 阿蘇南郷檜育成管理 技術体系マニュアル

（概要版）

[問い合わせ]

### 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森 2168 番地（高森町役場農林政策課内）  
TEL 0967-62-1111 FAX 0967-62-1174

全国唯一のヒノキ挿し木品種である「ナンゴウヒ」の特性を活かし、「阿蘇南郷檜」としてブランド化を進め付加価値を付けることにより、林業を活性化するための育成技術を後世に残すため、阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会によって作成した育成管理技術体系のマニュアルです。



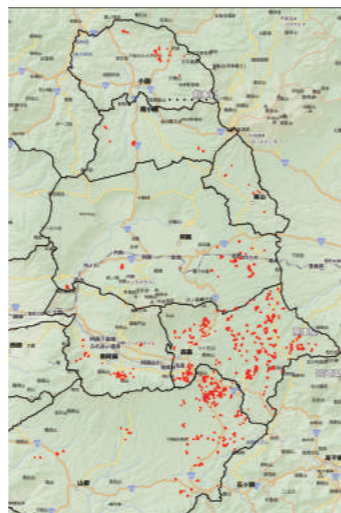
① 植栽地

阿蘇カルデラを含む  
外輪山一帯  
および周辺地域

阿蘇カルデラを含む  
外輪山一帯エリア



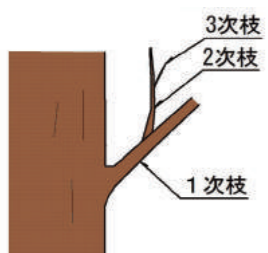
阿蘇南郷檜生育分布図



② 目標林型の設定

6m～8mの末口径 50cm以上の大径木  
(樹齢 120年～150年生)

③ 採穂 (母樹)



- 14型 (太枝系) 枝が多くなり枝打ちに労力が必要
- 18型・S型 (細枝系) 枝が細い
- DNA鑑定済の採穂園からの採穂 (2次枝が適)

④ 苗

挿し木による苗木

⑤ 植付



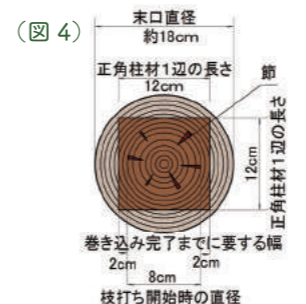
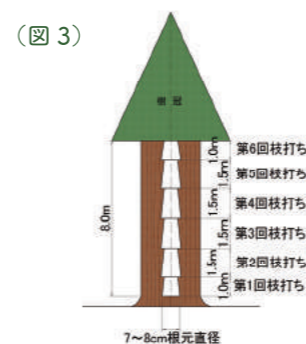
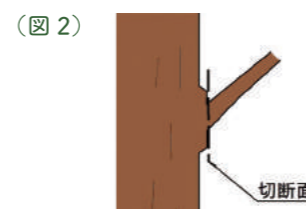
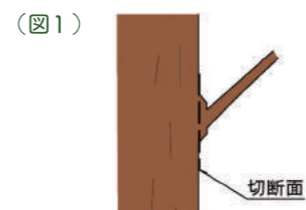
2,000～3,000本/ha 植付を標準とし、  
条件によってスギとの混植でも可

⑥ 下刈



6月～8月中に1～2年生3～4回以上、  
3～5年生3回以上、5～10年生2回以上必要  
(下刈り時に枝払いも同時に行う)

⑦ 枝打ち



1. 枝の径が親指 (2cm) より大きくならない事
2. 枝が2cmより小さい場合幹を傷つけないように平滑に打つ。(図1)
3. 枝が2cmより大きい場合には通常の枝打ち (座を残す) 方法により行う。(図2)
4. 1回の枝打ち高は1.5m以下とする。
5. 枝打ち前の幹の直径が8cm以下で繰り返す (図3、図4)
6. 回数はこまめに行い、最低でも20年間で4回以上行う
7. 時季は2月下旬～3月が望ましい。
8. 枝打ちの高さは4m以上～8m程度行う。
9. 切断面が鋭利になるような道具で行う。(例：カマ、ナタ、ノコ、パイプソー等)
10. 力枝は必ず落とす。
11. 鋭角な枝は幹に巻き付き易いので早めに落とす。
12. 枝打ちの目安としては樹幹が綺麗な三角形になるようにする。
13. 幹が細く、枝が大きい場合には枝の長さの1/2～1/3を目安に葉を残し先端を切り落とす枝払いを行う。

⑧ 間伐



1. 通常の間伐よりやや少なめに行う。
2. 混植した場合にはスギから先に行う

⑨ 伐採

